

活動の概要

10月2日（木）、松江市立第一中学校で『心に残る文化財子ども塾』を実施しました。

今回は複式学級12人で「古代の人々の生活を体験しよう」をテーマに、火おこしと古代食づくりの体験を行いました。

当日は、早朝からあいにくの大雨となり、屋外で予定していた一部の活動は内容を変更し、室内で行うことになりました。

まずは学校近くの遺跡について、本物の土器や松江市西川津町の遺跡パンフレットを見て学習しました。また、古代人の食事や食器、調理法などについて出土品を見ながら学習しました。

次にいよいよ古代体験活動です。まずは調理に必要な火をおこしました。2～3人のグループでまいきり式の火おこし道具を使って火おこしに挑戦しましたが、悪戦苦闘、煙はでるのに、なかなか火が付きません。終了時刻近くになってようやく2つのグループが火をおこすことに成功しました。

続いて、赤米やドングリ粉等を使った古代食づくりの体験を行いました。雨天のため、予定していた土器等を用いた赤米炊飯はできませんでしたが、調理室で炊飯器を炊くことになりました。また、ドングリ粉やクルミ、長芋を挽肉と混ぜ瓦にのせて焼いた「ドングリハンバーグ」作りを行いました。完成後はみんなで試食をし、「意外とおいしい」、「塩をつけるとなかなかうまい」、「赤米は赤飯みたい」など、いろいろな感想を話しながら楽しい試食会となりました。

授業の終わりには感想を述べ合い学習のまとめとしました。

松江市立第一中学校のみなさん、ありがとうございました。